

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2021年 2月 1日

事業所名: こどもデイ青空第2

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				63%	37%				ご利用人数の多い日には部屋を分ける等して工夫しています。
	2 職員の適切な配置	○				75%	25%			その日の利用者の人数、スタッフの数が分からないからどちらともいえないに○をしました。	基準以上の職員を配置するとともに必要な知識の習得に努めてい
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				75%	25%				入口に傾斜がありますが必要に応じて職員が対応し介助しています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				100%					今後も清潔な環境、感染症に対し安全な場を提供できるよう努力してまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○				/	/	/	/	/	これまで同様、スタッフ間での連携を密に行い、より良い支援を目指して取り組んでまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○		/	/	/	/	/	外部機関との連携を図り、業務改善に取り組み、さらなる支援の向上に努めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○				/	/	/	/	/	年に10回以上外部研修に参加し、個別にも資格取得を積極的に行っています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				100%					必要な支援について保護者様や職員間で話し合い適切な計画が作成できるよう努めています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%					今後も利用者一人一人の実態をしっかりと把握し、必要に応じて項目の追加や具体的な支援内容の検討、変更を行ってまいります。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/	/	個々での課題と集団での課題の両面から見た目標設定に努めています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				100%				これまで同様スタッフ全員が支援計画の内容を理解し、個人に合った支援、目標達成に向けた支援を行ってまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○				/	/	/	/	これまで同様、毎日のミーティングや振り返りをもとに、スタッフ全員で活動プログラムを検討、実施してまいります。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				100%				今後も振り返りノートや報告メールを活用し、活動が固定化しないよう様々なアイデアを出し合っており、有意義な活動内容を目指してまいります。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○				/	/	/	/	今後も利用者個人の課題をスタッフ全員がしっかりと把握し、利用時間に応じた適切な支援を検討、実施してまいります。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○				/	/	/	/	これまで同様、毎日ミーティングを実施し、活動内容の確認、周知を行いスタッフそれぞれの役割を確認、設定し、全員で共通理解を深めたうえで支援にあ
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○				/	/	/	/	これまで同様、一日の振り返りを実施し、より良い支援の方法の検討や利用者の現状の把握をしっかりと行い、明日からの支援に生かしてまいります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/	これまで同様、利用者一人一人の記録をしっかりと記し、継続的な支援を行えるよう努めてまいります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/	今後も年2回のモニタリングと、日々の送迎での情報交換等を利用して、利用者の実態に合わせた支援計画等の変更を行ってまいります。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○				/	/	/	/	今後も利用者一人一人の実態把握や他施設との連携した支援を目指し、担当者会議への積極的な参加と、開催の提案、依頼をしてまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/	/	/		/	/	/	/	今後も、医療、福祉、教育等の関係各所と連携を密に行いながら、より良い支援を目指してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/		/	/	/	/		これまで通り、利用者それぞれの主治医や医療機関との連絡体制を整え、健康で安全に過ごすことのできる環境づくりに努めてまいります。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○				/	/	/	/		これまで同様、利用者の関わる各機関との連携を密に行い、円滑な移行支援に努めてまいります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	/		これまで同様、他の事業所への円滑な移行支援のために、十分な情報提供と移行後の連携にも力を入れてまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/		今後も各専門機関との連携や専門機関での研修への参加を積極的に行い、さらなる支援の向上に努めてまいります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		25%	50%	25%		コロナの影響もありなかなか交流は難しいと思う。	必要性を感じていないという意見もあり 今後コロナが落ち着いた際には再度検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○		/	/	/	/		本事業所の収穫祭等を利用して、地域の方々や障がいのない子どもたちを招待し、地域に根差した開かれた施設を目指してまいります。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				100%					これまで同様、支援内容や利用者負担についての説明など、各機関と連携を取りながら、丁寧な説明を行ってまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				100%					今後も支援計画を示しながら支援内容の説明、相談を実施してまいります。
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○			50%	50%				今後、研修等を活用してペアレント・トレーニングについての知識を学び、支援の実施をしてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				100%				送迎の際に丁寧にその日の様子など説明してくれるので感謝しています。	保護者様とのお話を職員間で周知し 共通理解をしています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				100%					今後も、保護者様からのご相談について、責任者を中心に、お力添えできるよう、検討、お話しを行ってまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○			50%	50%				年に一回秋に保護者会として芋炊きを実施していましたが、コロナの影響で昨年は中止にしています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				63%	37%				今後とも誠実に対応してまいります。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				100%					今後も保護者様、利用者様の実態に合わせ、直接お話をしたり、IC機器等を用いたりしながら、意思疎通、情報伝達に努めてまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				75%	25%			森松だよりを毎月頂けるので子どもの様子が分かって嬉しいです。	今後も継続して森松だよりで活動や行事をお伝えしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○				63%	37%				取り扱いには十分注意しております。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				75%	25%				今後も、緊急時マニュアル等をもとに、保護者様や関係機関と連携を図り、安全な環境づくりに努めてまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○				63%	37%				年に最低3回は防災訓練を実施し、緊急時に備えております。避難訓練等のお知らせは森松だよりで保護者様にお伝えしていま

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○				/	/	/	/		これまで通り、年2回職員全体の虐待防止研修会と、関連機関が開催する研修会への参加を続けてまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○				/	/	/	/		やむを得ず身体拘束を行う場合には、しっかりと利用者様、保護者様への説明を行い、支援計画へ記載し、職員全員で周知、対応してまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○				/	/	/	/		食物アレルギーに関しては、医師の指示書を最優先に、保護者様とご相談させていただきながら慎重に対応してまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○				/	/	/	/		これまで同様、ヒヤリハットを記入、ファイリングし、発生事項を全職員に周知し、今後の対応策をしっかりと話し合い、再発防止に全力で努めてまいります。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	/	/	/		88%	12%				コロナが心配でなかなか来られないとの意見を頂いています。100%になるよう工夫してまいります。
	2 事業所の支援に満足しているか	/	/	/		100%				入浴のサービスはとても助かります。	今後も我々の支援に対して、安心していただけるよう、スタッフ間での話し合いや連携を密に図り、ご利用者様一人一人に合った支援を目指して日々成長して